

友愛発 第 4号
平成27年5月1日

東北地区知的障害者福祉協会
会長 井上 博 様

社会福祉法人 友愛会
理事長 林 久美子



義援金の寄贈について（御礼）

謹啓 若葉の鮮やかな季節、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、当法人に対しまして、平素より特段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、この度は遠路足をお運び頂き、多額の義援金のご寄贈を賜り誠にありがとうございました。貴職のご厚意を利用者の皆にご紹介させて頂き、利用者のために大切に使用させて頂きたいと存じます。本当にありがとうございました。

この度の御礼に併せまして、ご心配頂いております東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う、当法人の現況についてお知らせ申し上げます。

当法人（運営する全施設）は、3・11に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴って、その翌朝から避難を開始して、福島県三春町内のさくら湖自然観察ステーションに第一次避難し、群馬県高崎市内の国立のぞみの園に第二次避難して、4年以上にも及ぶ長い避難所での事業運営を余儀なくされています。

現在では、68人の知的に障がいを持った利用者を、32人の職員で支援に当たらせて頂いております。長く続く避難生活となっておりますが、お陰様で少しずつ落ち着きを取り戻した生活を送っております。

しかし、それぞれあくまでも一時的な避難所であり、できるだけ早い時期に故郷に近い所に帰還して当法人本来の事業運営を望み、このことを励みにして頑張っているのが現状です。

（お陰様で平成28年3月に、広野町で事業再開できそうになりました。）

これからも当法人本来の事業運営を再開するために全力で努めて参る所存ですので、貴職には今後ともご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、貴職の益々のご発展をご祈念申し上げますと共に、貴会の皆様にも宜しくお伝え頂きますようお願い申し上げます。

この度は、本当にありがとうございました。

謹白